

令和6年度隠岐採択地区教科用図書採択協議会会議録

1. 開催日時 令和6年8月7日 9:00
2. 開催場所 隠岐の島町教育委員会3階会議室
3. 出席委員

4. 欠席委員
5. その他出席者

6. 開会宣言 会長より開会宣言をする。
7. 審議事項（大要）

（1）国語科

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

（主任研究員より説明）

【出された質疑・意見等】

- ・QRコードの活用は、生徒によってかなり個人差があると思う。選定した教科書は、最初に多くのQRコードがあり、教員が使うようにすれば、生徒も便利さがわかってどんどん使いだすのではないかなと思う。
- ・全国学力調査の結果で課題となっている自分が考えたことを表現する力など、4社を比較する際に学力調査の結果を踏まえた検討はあったのか。
→書く力に課題があると話があり、事実や意見の根拠を明確にして書くため、指導言語の言葉の力を高めてから書けるよう、生徒が今何を学んでいるのかわかりやすく、教員も教える時にの焦点を絞りやすい点等を検討し、選定した教科書が優れていると評価した。
- ・小学校と中学校の出版社を同じにするという考え方は出てなかったのか
→以前小中で出版社が異なることがあったが、同じでないと困るなどの声が上がっていないため、問題ないものと考えている。

（2）書写

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

（主任研究員より説明）

【質疑・意見等】

- ・タブレット端末を利活用した書写とは、タブレットに書くことを含めるか
→硬筆の練習はできないが、QRコードを読み取り、書く様子の確認等を行うものを指している。

(3) 理科

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

(主任研究員より説明)

【出された質疑・意見等】

- ・教科書が大きいと情報量が多くなってしまふからサイズの小さい教科書だと簡潔であるということの理由だと思うが、その理解で良いか。
→それもあるが、シンプルで見やすく、勉強が苦手な生徒もわかりやすい点を重視した。深く広く知りたい生徒に対しては、発展的な資料等のあるQRコードを活用する。

(4) 英語科

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

(主任研究員より説明)

【出された質疑・意見等】

- ・デジタル教科書とQRコードのある教科書で違いはあるか。
→大きな違いは無い。
- ・6社あるが、選定した教科書(東書)の次の候補と差はあるか。
→内容がシンプルになっているニュークラウン(三省堂)を検討した。ニュークラウンは、ポイントを絞っている教科書だが、教師が内容に付け足す必要があることが多い。
ニューホライズン(東書)は取捨選択をしながら使うので経験年数等が様々な先生がおられた場合は使いやすいところがんニュークラウンとの差となっている。
- ・自分で辞書を調べて言葉を探し出すみたいなのところがあまりできていないと思う。自分で時間をかけて苦労して学ぶ姿勢みたいなものが必要なのではと思い説明を聞いていた。QRコード活用し、家庭での自主学習ができる体制作りができると、生徒の話す力や書く力ついていくと考える。

(5) 特別な教科 道徳

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

(主任研究員より説明)

【出された質疑・意見等】

- ・東書は資料が多いが、はたしてこの資料を使っているのかというのがあって、読むところ以外が多すぎて、かえって使いにくいのではと思う。家庭学習が想定されていないのに、たくさんの資料があつていいのかというところで、選定時の基準でそういった話は出てこなかったのか。もし何かあれば聞かせてもらいたい。
→資料の多さに関しての意見は特になかった。教科書に載っているものをすべて使うというよりは、道徳の授業の構成を考えた時に、取捨選択しながら使う判断を先生方が行う。
道徳に関しては、材料の多い方が使いやすいと判断した。

- ・選定以外の3社には、隠岐出身の方が題材で取り上げられており、多様な生き方や個性を尊重することの題材として適していると思うが、評価を聞かせてもらいたい。

→話題として適していないわけではないが、すべての出版社で同一の題材を取り扱っているのも、そこにこだわる必要はないと思う。かえって使わない方が、一般的なイメージになるのではという話になった。また、地域であるが故に、もし題材となった時に取り扱いやすい面と取り扱いにくい面もあると思う。この題材を使うとなれば、教科書以外で独自に紹介することもできる。

(6) 技術家庭科（技術分野）

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

（主任研究員より説明）

【出された質疑・意見等】

- ・社会しかもっていない教師がやらされている現状（専門の教員や指導歴の長い教員が少ない）で、自分が指導していたときは非常に困っていた。誰にとっても指導がしやすくわかりやすい点は素晴らしいと思う。

(7) 技術家庭科（家庭分野）

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

（主任研究員より説明）

【出された質疑・意見等】

- ・現在、技術分野と家庭分野で分かれているが、指導的に不都合はあるか。
→基本的に技術分野と家庭分野では指導する教員が違うので、問題はない。教育図書はある程度必要なことが絞られており、特に分かりやすいと判断した。現状を考えて、技術分野も家庭分野もやはりその教員が非常に足りないという、そういった状況の中で、どの教科書が一番使えるかという基準で選定した。

(8) 音楽科（一般・器楽）

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

（主任研究員より説明）

【出された質疑・意見等】

- ・2社ともQRコードですべての演奏が聞くことができるか
→2社とも聞くことができるが、教育出版は伴奏のみが無い。
- ・琴の指導を現在在籍の先生できるのか
→今おられる音楽教員は指導ができる。
- ・生徒が琴を弾けるようになるか
→弾けるようになる。音の調弦だけをしておけば、弾くと音が鳴るので、他の和楽器と比べると取り組みやすい。

(9) 数学科

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

(主任研究員より説明)

【出された質疑・意見等】

・啓林館はタブレットがある前提という意味か。

→啓林館はタブレットがあって初めて成り立ってくる。章末問題を使うとき答えが教科書に載っていない(答えはQRコード)ため、家庭でタブレットが使えない場合は、生徒が自分でPDCAができない。タブレットで読み取らないと答えが出ないというところは不便さがある。

(10) 美術科

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

(主任研究員より説明)

【出された質疑・意見等】

・技術と同様に専門の免許を持った教員が少なく、現在使っている出版社は専門的なため、開隆堂の方が教員にとって使いやすい。

(11) 保健体育科

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

(主任研究員より説明)

【出された質疑・意見等】

・現在の教科書の資料のデータは古いものがあったと思うが、最新のもののか

→昨年のデータとかではないが、3年前のデータもあり、割と新しいものがある。

(12) 社会科(地理・歴史・公民)・地図

会長：教科書の選定・推薦について主任研究員の説明を求める。

(主任研究員より説明)

【出された質疑・意見等】

・地理、歴史、公民分野とあるが、それぞれ違う視点での選定か。

→それぞれ同じポイントとなっている。地理歴史公民がすべて帝国書院が一番良いと結論に至っている。単元を貫くというところで、導入からまとめまでのまとまりが非常に良く、その導入も生徒の興味関心を引き、まとめも対話を中心にまとまりを作っているので、学びを広げ深めるという点で、非常にこの教科書が一番いいだろうという結論になっている。

- ・教員が指導しやすく、生徒も理解しやすいという視点をかなり重視されたと思うが、日本の歴史の中でどこに重きをおいて、生徒に伝えたいというような別の視点はどうか。例えば、新しく入ってきた令和書籍については、どう評価されたのか。

→内容にすこし偏りがあり、比較的難しい文章が多くみられ、ユニバーサルデザイン的な面でも難しいと評価した。

- ・出版社を一つに揃えることでできることはあるか。

→歴史をやりながら、公民の教科書を見るというようなことは子どもの負担にもなるのであまりない。分野横断的な考え方はよく言われるので、同じ教科書会社が提示しやすいとは考える。

8. 全 体 協 議

◎異議なし。推薦のあったとおりで全員承認した。

◎会議録について、林明範委員が代表して署名することとなった。

◎本会の資料について、9月1日以降公開請求があれば専門研究員の氏名を除き公開することで確認した。

9. 閉 会 日 時 令和6年8月7日 14時50分

10. 会議録作成者 事務局

隠岐採択地区教科用図書採択協議会

委 員